

夏休み リモート登校日

(ねらい)

- ・長期休業期間中の児童の健康状態や家庭での様子をオンラインで把握し、スムーズに2学期をむかえられるようにする。

(活用するICT機器)

- ・タブレットPC
- ・GoogleClassroom

- ・全学年、夏休み期間中に1回(30分程度) 実施
- ・健康観察、宿題の確認、連絡事項等



教員が出欠確認をしている場面



学童の児童がリモート登校をしている場面

(効果)

- ・児童一人ひとりの健康状態や家庭での様子を確認することができ、スムーズに2学期の準備ができた。
- ・児童はインターネットを通じて担任や友だちと繋がる楽しさを知った。担任が一人ひとりに声をかけることで、自己表現が苦手な児童も会話を楽しみ、夏休みの様子を積極的に友だちに話すことができた。
- ・リモートで繋がることで、夏休み期間中も児童が学級の一員としての自覚をもつことができ、集団づくりに有効であった。